

地域森林計画の樹立及び変更について

～令和5年度第2回北海道森林審議会諮問事項～

令和5年12月
北海道

[説明内容]

1. 地域森林計画について
2. 地域森林計画の樹立について
 - (1) 上川南部地域森林計画区
 - (2) 網走西部地域森林計画区
 - (3) 十勝地域森林計画区
3. 地域森林計画の変更について

1. 地域森林計画について

地域森林計画

森林計画区(全道13計画区)別に5年ごとに10年を1期とした計画で、森林の整備及び保全の目標等を明らかにするとともに、市町村森林整備計画の策定に当たっての指針となる計画。

【主な計画事項】

- ・対象とする森林の区域
 - ・森林の整備及び保全に関する事項
 - ・伐採立木材積等伐採に関する事項
 - ・造林面積その他造林に関する事項
 - ・間伐立木材積等間伐及び保育に関する事項
 - ・公益的機能別施業森林の整備に関する事項
 - ・林道開設等その他林産物の搬出に関する事項
 - ・森林の保護に関する事項
 - ・森林の土地の保全に関する事項
 - ・保安施設に関する事項
- 等

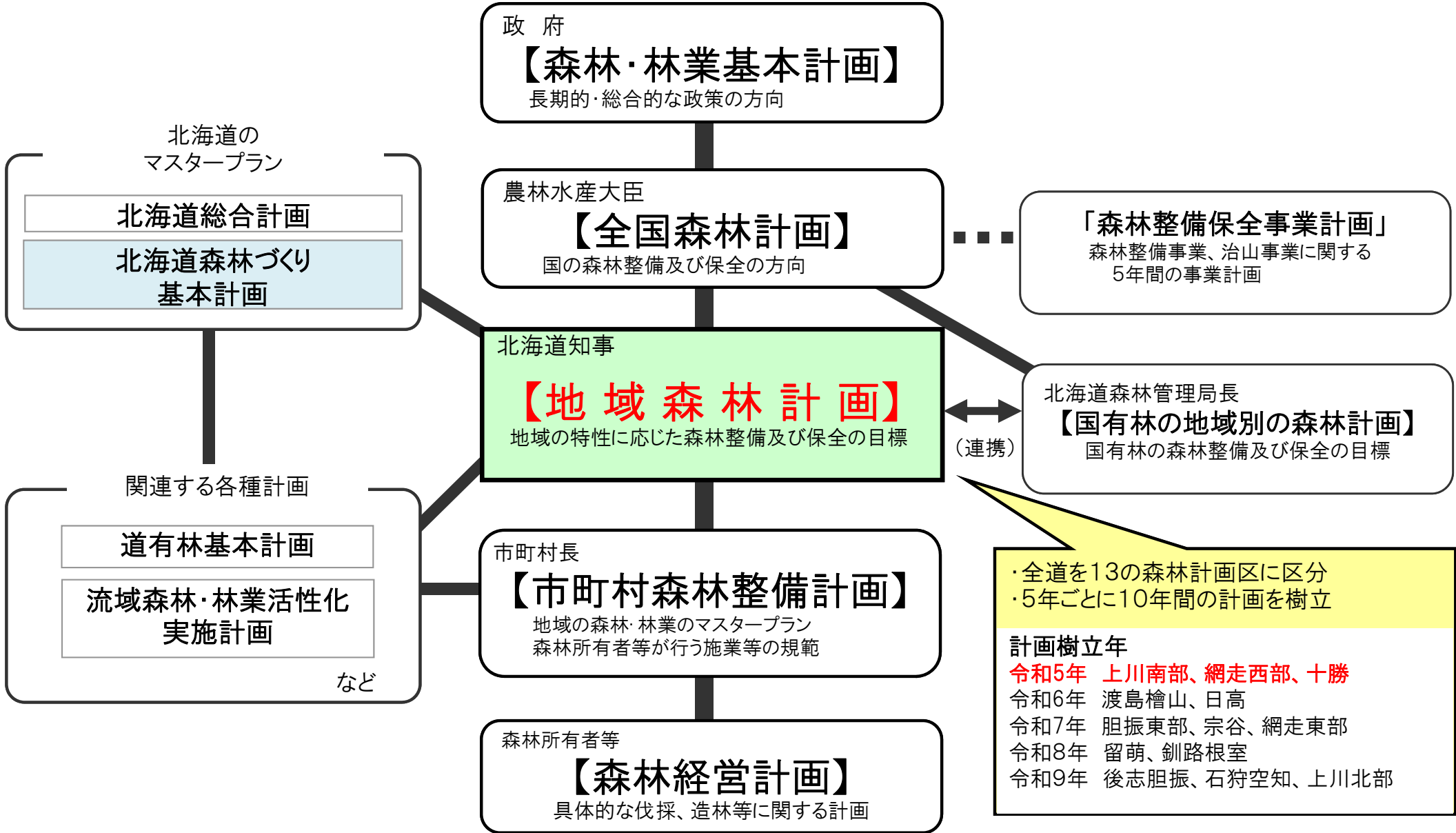
森林審議会への諮問

都道府県知事は、(中略)当該地域森林計画の案について、都道府県森林審議会及び関係市町村長の意見を聴かなければならない。(後略)

(森林法第6条第3項)

1. 地域森林計画について

森林計画制度の体系



1. 地域森林計画について

全国森林計画の改定(令和5年10月)

【主な改定事項】

- ・近年の森林に対する国民の要請を踏まえ、花粉発生源対策を加速化
- ・航空レーザ測量等により整備した森林資源情報の公開を促進
- ・地域の実態に応じた林業への新規参入・起業など林業従事者の裾野の拡大
- ・木材関連事業者による合法性の確認、合法木材取扱数量の増加の取組を推進
- ・盛土等に伴う災害の防止に向けた各種取組等の促進





【伐採等の計画量の変更】

- ・最新の森林資源情報を踏まえ、計画量を算出
- ・花粉発生源対策におけるスギ人工林の伐採・植替え等の加速化も考慮

[全国森林計画における伐採等計画量]

(単位 材積:万m³)

(単位 面積:千ha)

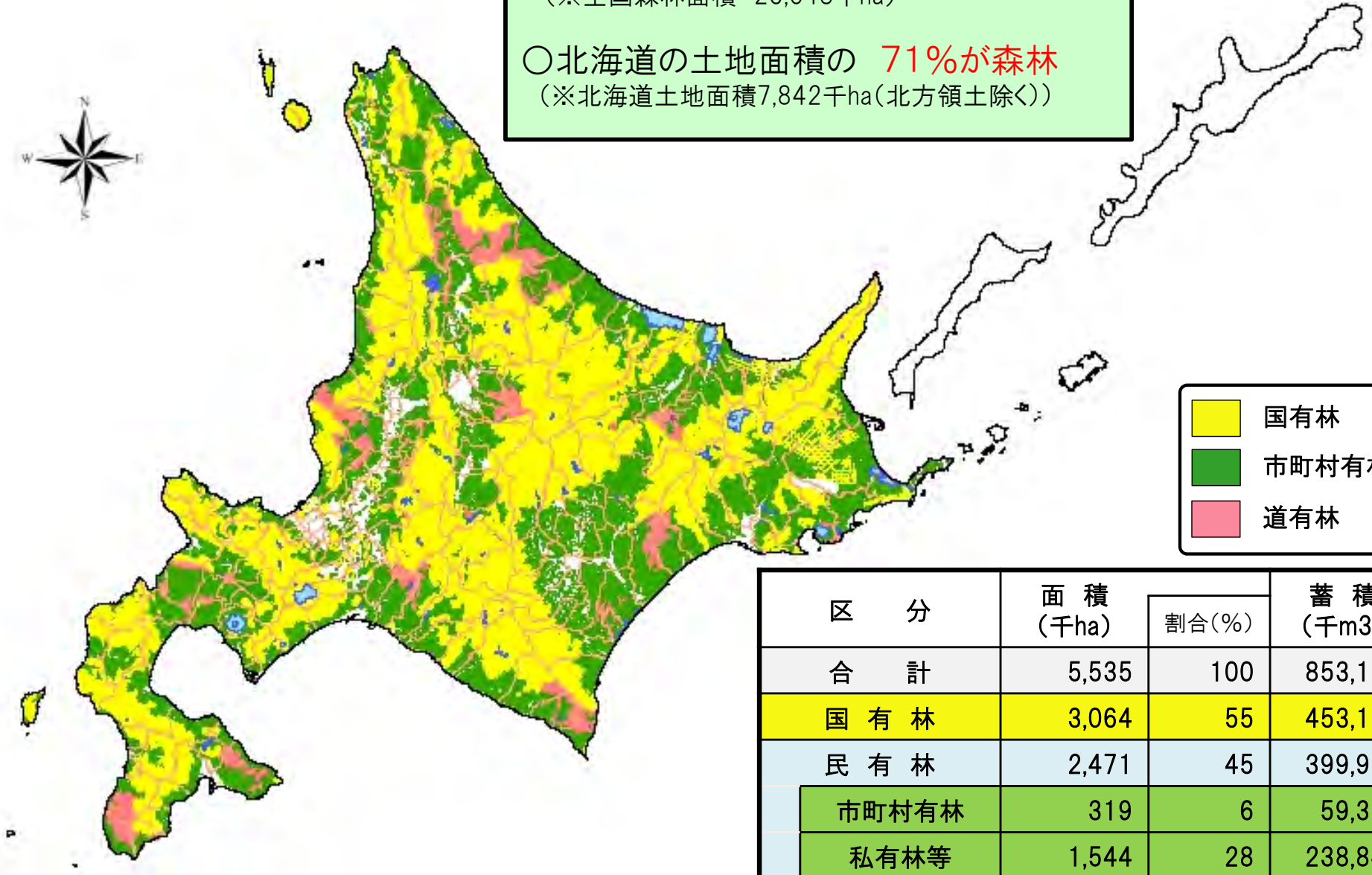
区分	伐採立木材積						造林面積					
	主伐 			間伐 			人工造林 			天然更新 		
	前計画 (R3変更)	本計画 (R5改定)	増減率	前計画 (R3変更)	本計画 (R5改定)	増減率	前計画 (R3変更)	本計画 (R5改定)	増減率	前計画 (R3変更)	本計画 (R5改定)	増減率
全国	39,345	54,458	138%	44,078	34,441	78%	1,020	1,375	135%	571	792	139%
北海道	4,485	6,477	144%	5,412	4,848	90%	195	282	145%	146	196	134%

1. 地域森林計画について

北海道の森林

○全国の森林面積の **22%が北海道**
(※全国森林面積 25,048千ha)

○北海道の土地面積の **71%が森林**
(※北海道土地面積7,842千ha(北方領土除く))



■ 国有林
■ 市町村有林・私有林等
■ 道有林

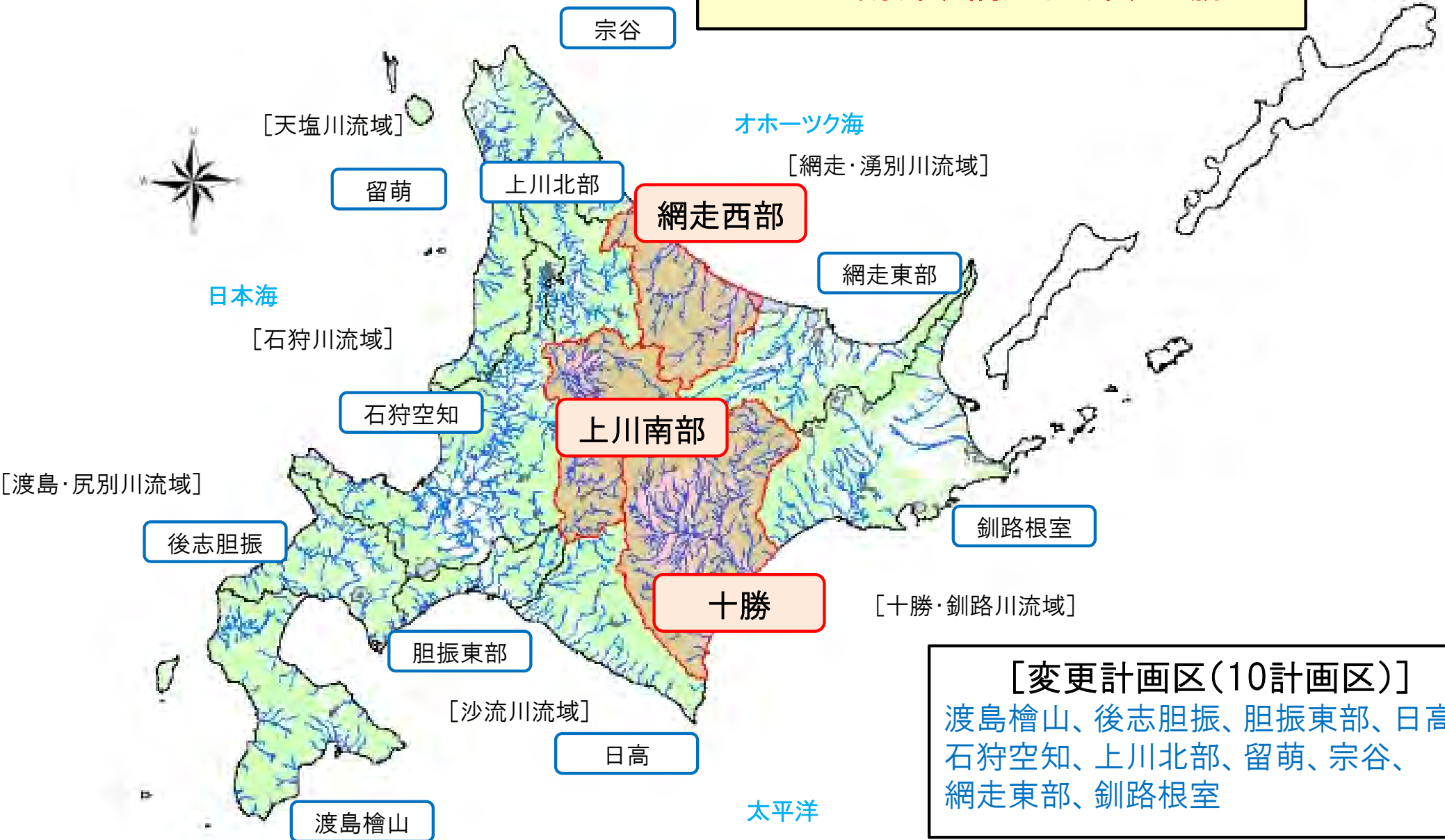
区 分	面 積 (千ha)		蓄 積 (千m3)	
	面積	割合(%)	蓄積	割合(%)
合 計	5,535	100	853,165	100
国 有 林	3,064	55	453,195	53
民 有 林	2,471	45	399,970	47
市町村有林	319	6	59,321	7
私有林等	1,544	28	238,849	28
道 有 林	608	11	101,800	12

(令和4年4月1日現在)

1. 地域森林計画について

「樹立区」と「変更区」

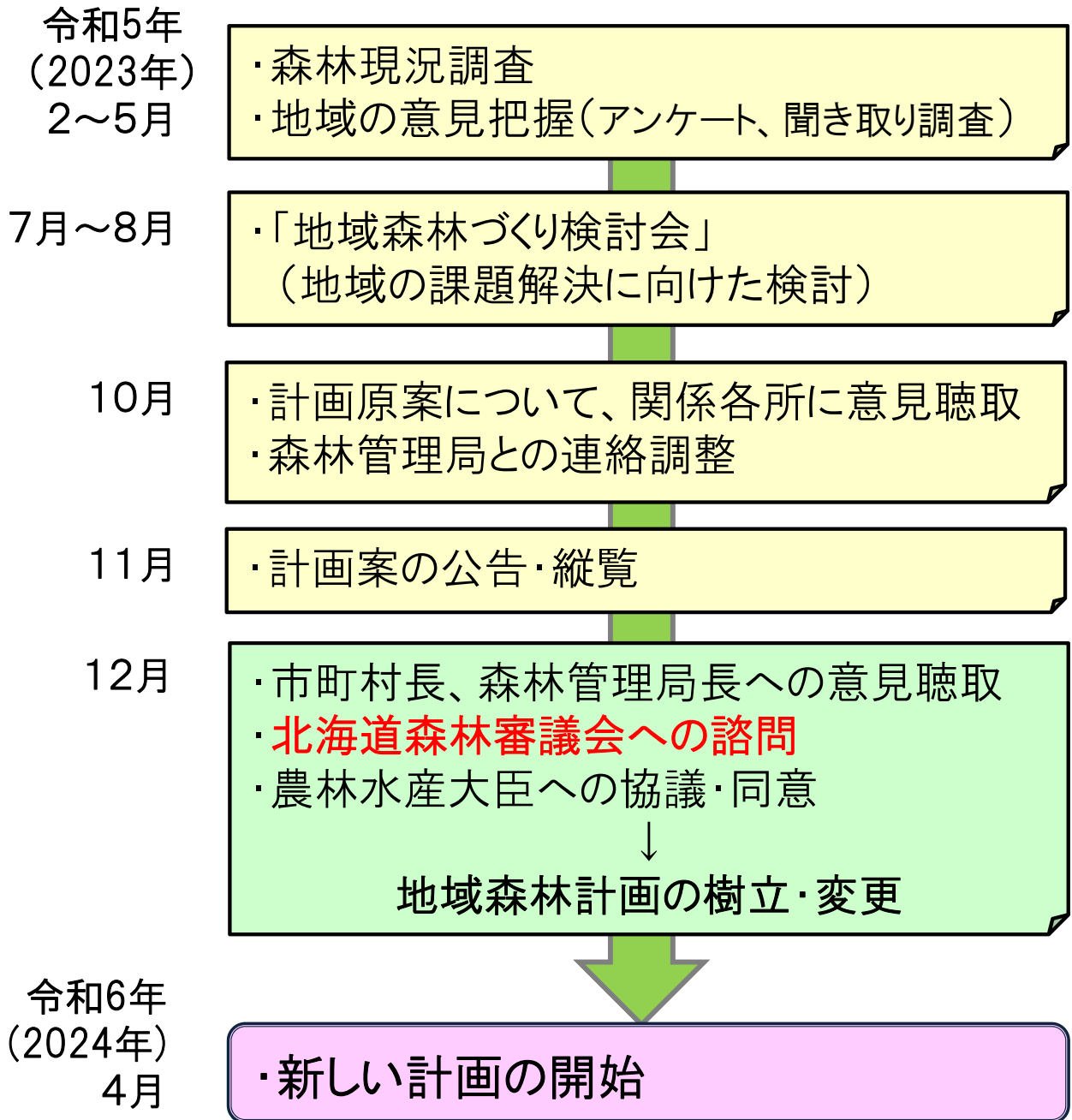
[樹立計画区(3計画区)]
上川南部、網走西部、十勝



[変更計画区(10計画区)]
渡島檜山、後志胆振、胆振東部、日高、石狩空知、上川北部、留萌、宗谷、網走東部、釧路根室

1. 地域森林計画について

地域森林計画策定の流れ



[検討会の参加状況]

計画区	開催日	地域森林づくり検討会	
上川南部	8/3	(旭川会場)	72名
網走西部	7/27	(紋別会場)	37名
十勝	8/1	(帯広会場)	55名
合計			164名



(紋別会場)

2. 地域森林計画の樹立について

上川南部地域森林計画区

地域の概要

地勢	北海道のほぼ中央に位置し、上川総合振興局管内の南部を区域とする。	
気候	年平均気温 約 6.5℃ 年最深積雪 約170cm	年間平均降水量 約1,135mm 山に囲まれた内陸地帯の盆地であるため、冬季と夏季の寒暖の差が大きい内陸性の気候。
構成	2市11町1村	
人口	約420千人(令和2年国勢調査) 全道の8%	



農業

北部では稲作や畑作が中心、南部では畜産が中心。



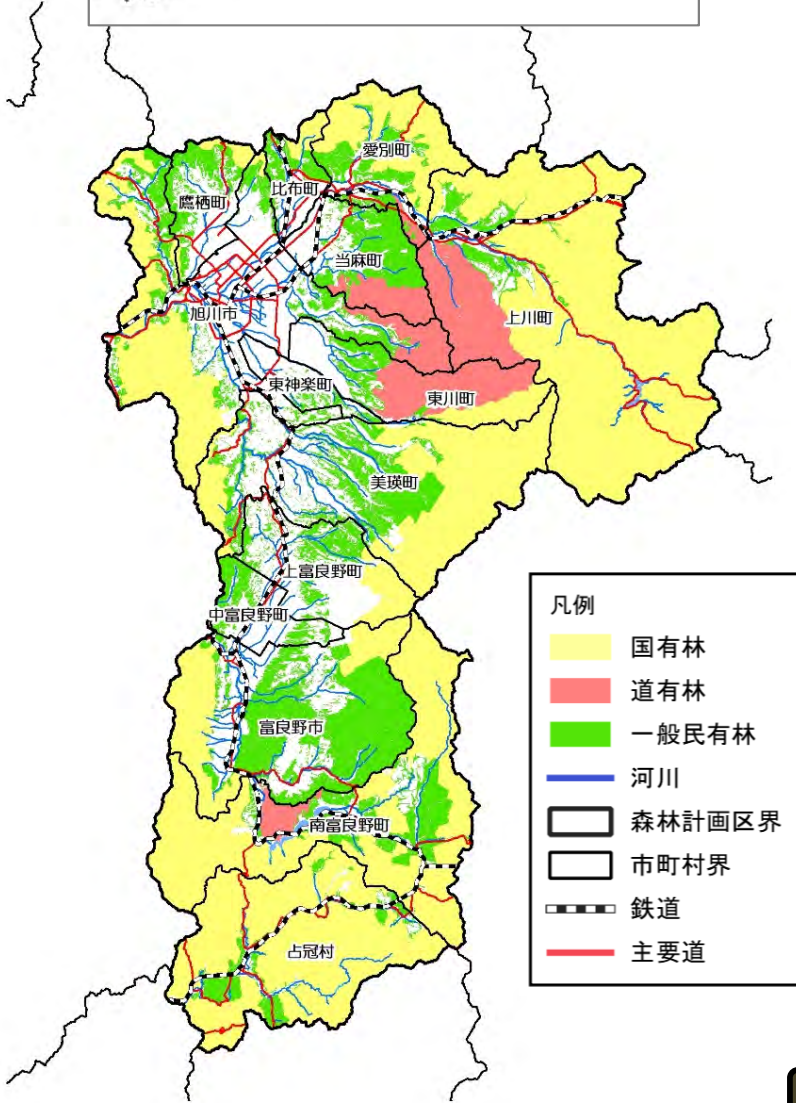
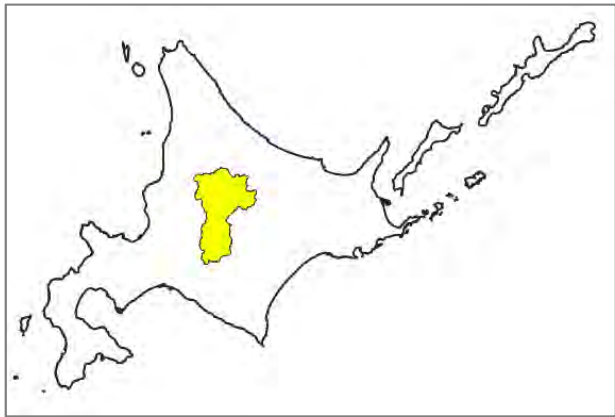
工業

豊富な森林資源を背景に発展した製紙・木材・木製品製造業が盛ん。



その他

「大雪山国立公園」「富良野・芦別道立自然公園」を有し、山岳や湖沼などの自然に恵まれている。



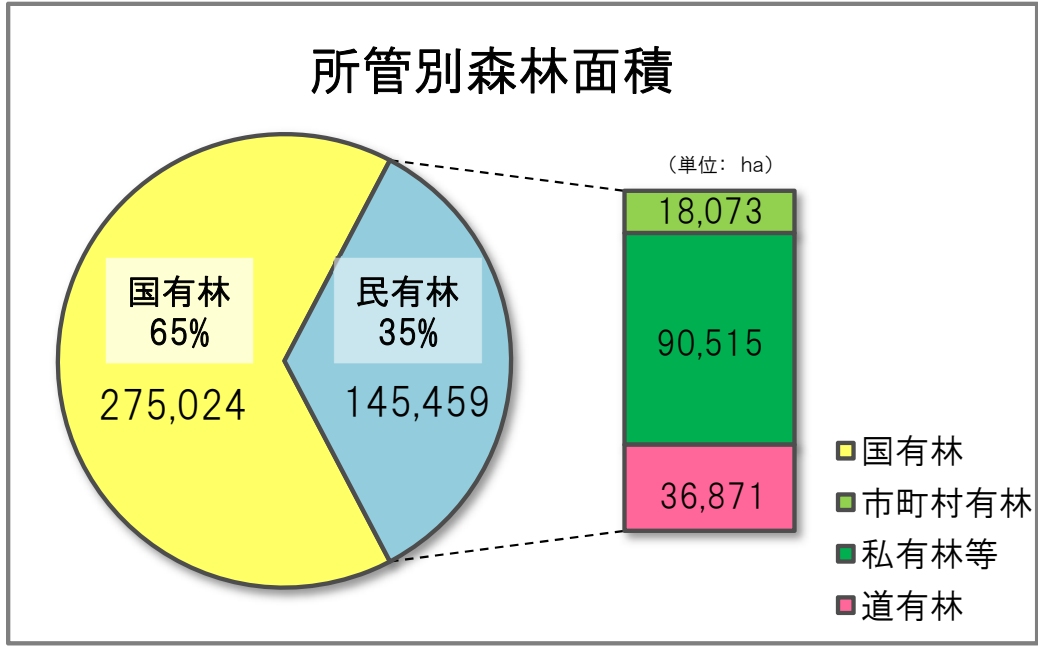
2. 地域森林計画の樹立について

上川南部地域森林計画区

■ 森林・林業の概要

(令和4年4月1日現在)
(森林経営計画認定面積: 令和5年3月31日現在)

- 森林面積 : 421千ha (総土地面積の74%)
- 民有林面積 : 146千ha (計画区の森林の35%)
- 民有林蓄積 : 30,328千m³ (ha当たり蓄積 208m³)
- 伐採材積 : 456千m³ (うち民有林 77%)
- 森林経営計画認定面積 : 62千ha (認定率 57%)



■ 林業事業体の概要

(森林組合、木材・木製品製造業: 令和5年3月31日現在)
(造林業、素材生産業: 令和4年3月31日現在)

区分	森林組合	造林業	素材生産業	木材・木製品製造業		
				製材	チップ	その他
上川南部	9	35	44	24	28	10
全道	78	396	389	154	181	65

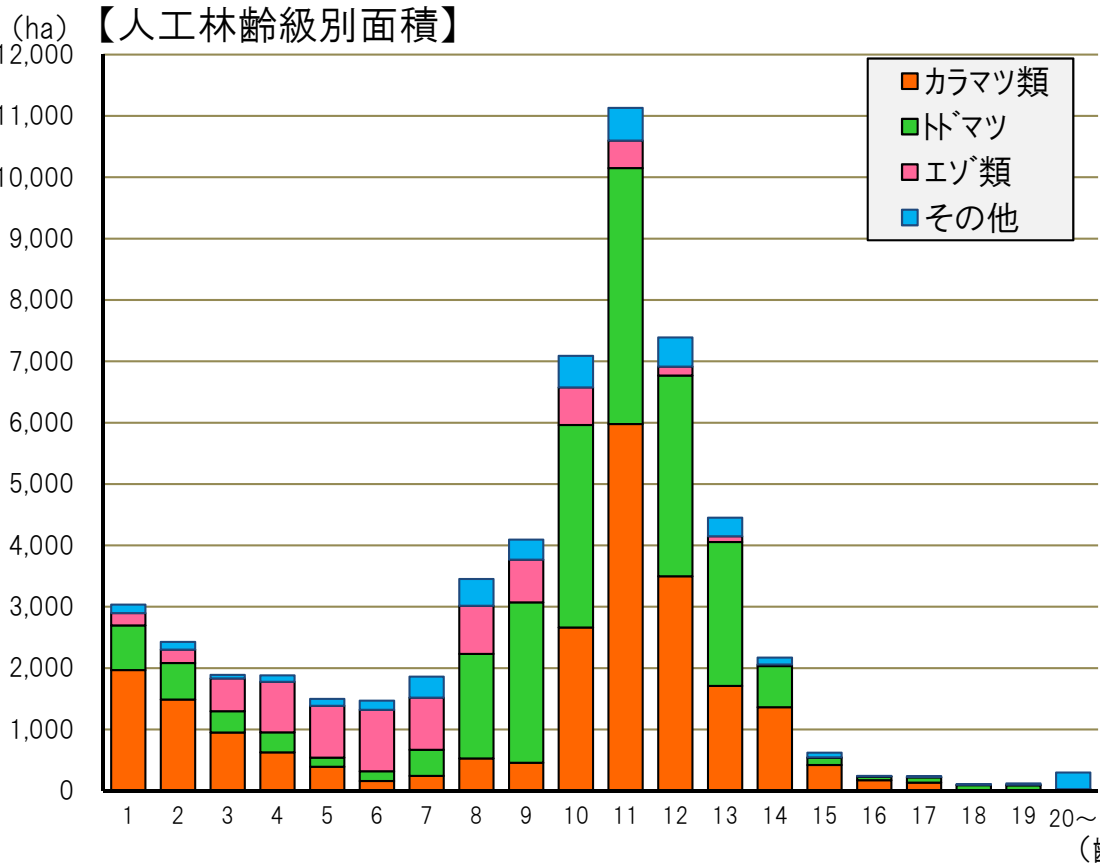
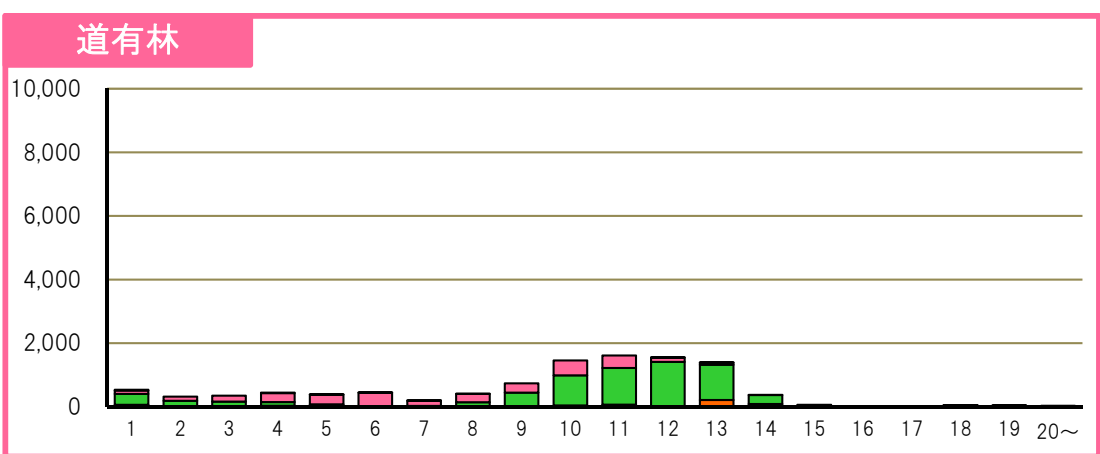
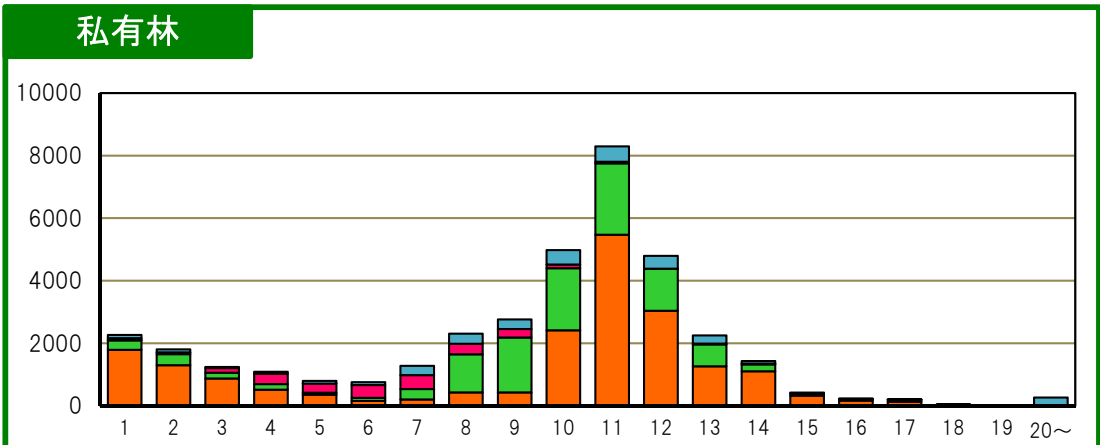
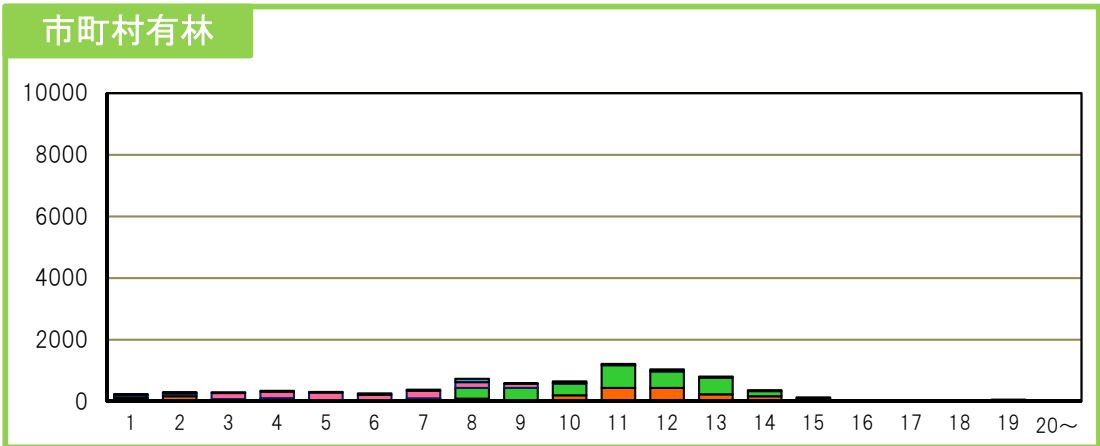


2. 地域森林計画の樹立について

上川南部地域森林計画区

区分	市町村有林	私有林等	道有林	計
人工林	7,786 ha	37,246 ha	10,438 ha	55,470 ha
天然林	9,991 ha	51,102 ha	23,390 ha	84,483 ha
無立木地	296 ha	2,167 ha	3,043 ha	5,506 ha
計	18,073 ha	90,515 ha	36,871 ha	145,459 ha

※端数処理の関係上、縦横の合計が一致しない場合がある (令和4年12月31日現在)



2. 地域森林計画の樹立について

上川南部地域森林計画区

実績及び評価

(令和元年～令和5年)

伐採

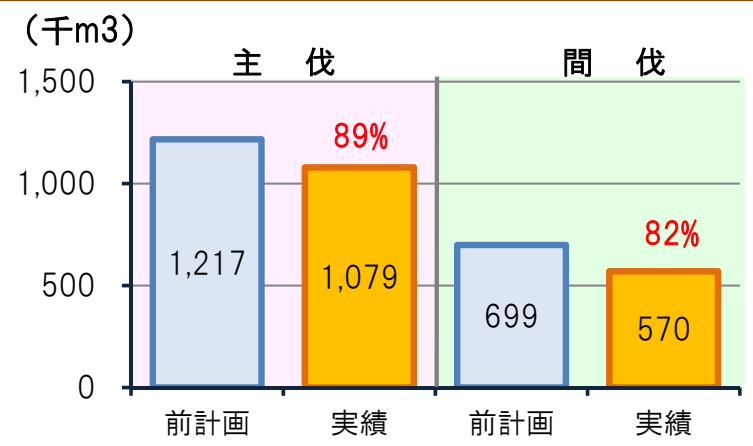


【主伐】

人工林の伐採が進まなかったことから、計画を下回った。

【間伐】

限られた人員の中で主伐を優先させたことから、計画を下回った。



造林

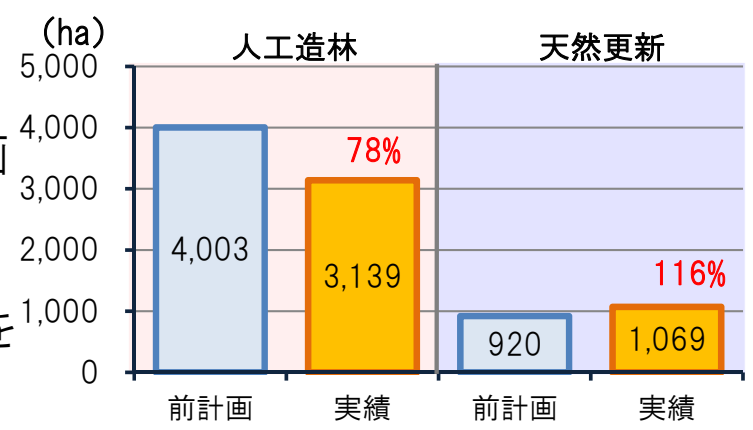


【人工造林】

人工林の主伐が進まなかったため、対象となる森林が少なかったことから、計画を下回った。

【天然更新】

天然林の主伐が進んだことから、計画を上回った。



保安林の指定



保安林の指定は、計画期間内で指定があったため、計画を上回った。

(単位 面積:ha)

森林の種類	前計画	実績	実行率
水源涵養 <small>かん</small>	0	5	-%
災害防備	0	8	-%
計	0	13	-%

2. 地域森林計画の樹立について

網走西部地域森林計画区

■ 地域の概要

地勢	北海道東部のオホーツク海側に位置する。渚滑川及び湧別川の2本の一級河川、内陸部には南北に連なる北見山地、海側にはサロマ湖をはじめとする大小の湖沼群を有する。
気候	年平均気温 約 6.2℃ 年間平均降水量 約1,058mm 年最深積雪 約159cm 冬期間は沿岸一面が流氷に覆われ、寒さが厳しいものの日照時間が比較的多い。
構成	1市5町1村
人口	約60千人(令和2年国勢調査) 全道の1.1%



農業

酪農、畑作を中心とした農業経営を展開。畜産においては、生乳・肉用牛、畑作においては、たまねぎ、かぼちゃ、馬鈴しょ等の野菜を生産。



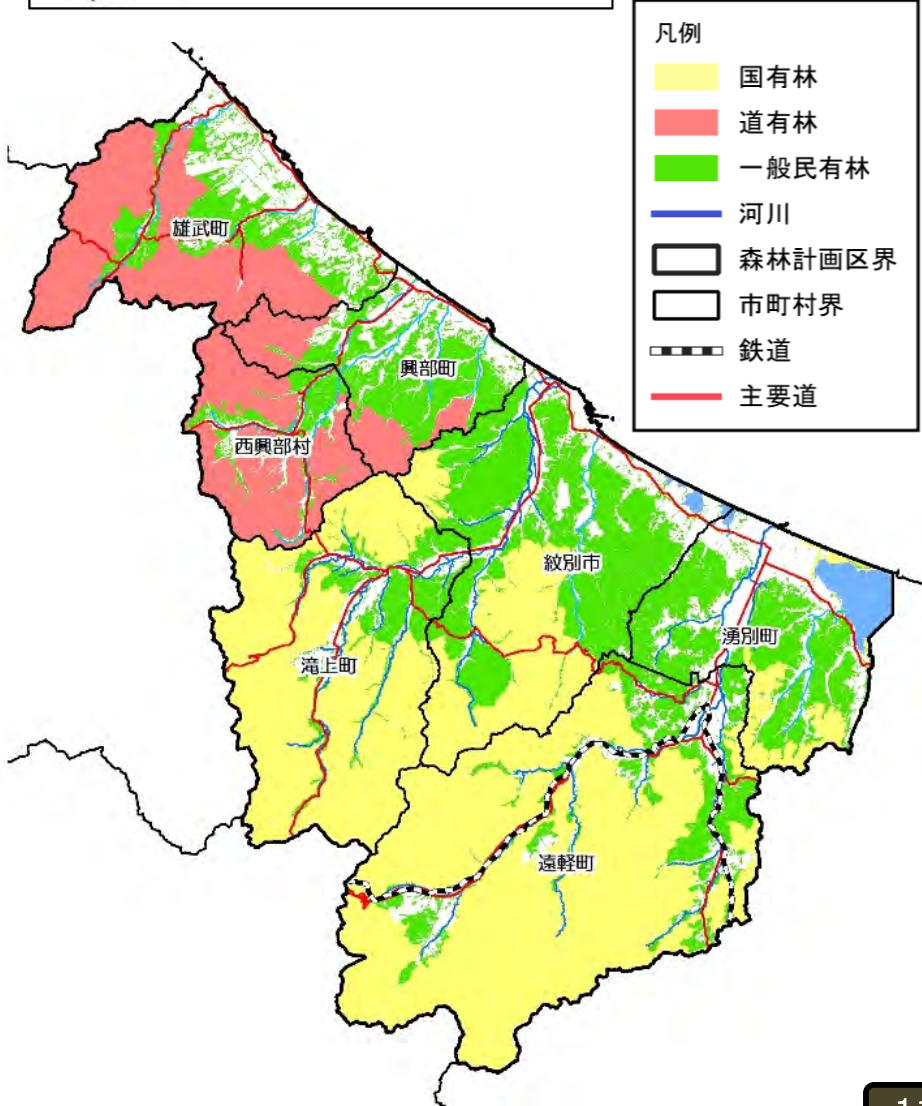
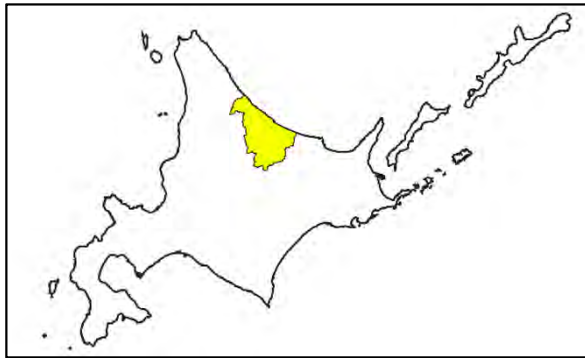
漁業

サケ、マス、毛ガニなどの沿岸漁業や、ホタテ、カキの養殖が行われている。



その他

滝上の芝桜、湧別のチューリップ、遠軽のコスモスなど道内有数の花の観光資源を持つ。冬はオホーツク海の流氷観光が人気。



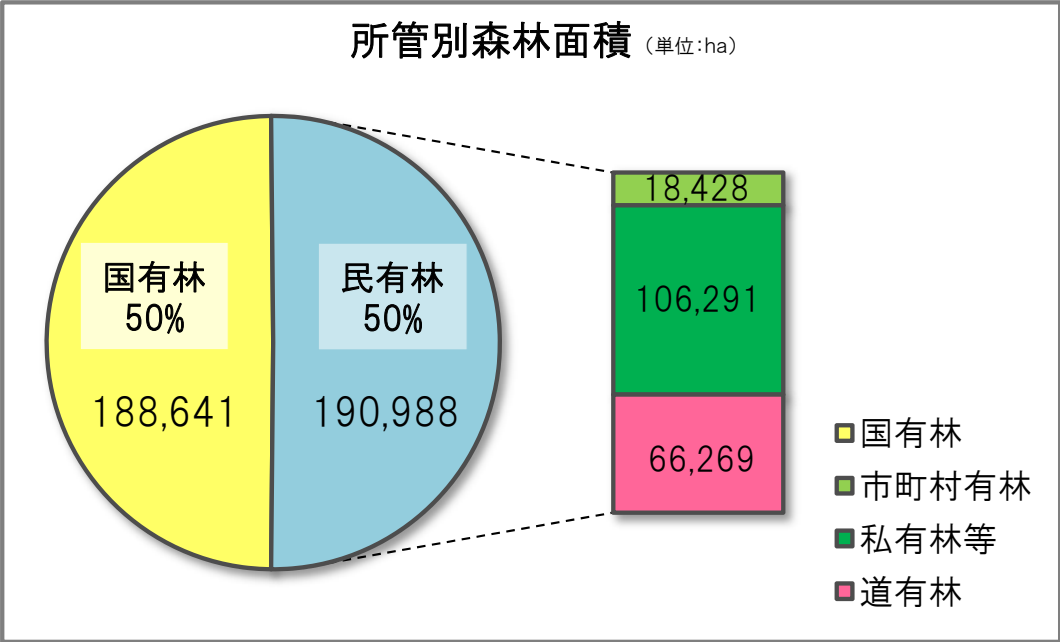
2. 地域森林計画の樹立について

網走西部地域森林計画区

■ 森林・林業の概要

(令和4年4月1日現在)
(森林経営計画認定面積: 令和5年3月31日現在)

- 森林面積 : 380千ha (総土地面積の80%)
- 民有林面積 : 191千ha (計画区の森林の50%)
- 民有林蓄積 : 34,707千m³ (ha当たり蓄積 182m³)
- 伐採材積 : 585千m³ (うち民有林 67%)
- 森林経営計画認定面積 : 174千ha(認定率 91%)



■ 林業事業体の概要

(森林組合、木材・木製品製造業: 令和5年3月31日現在)
(造林業、素材生産業: 令和4年3月31日現在)

区分	森林組合	造林業	素材生産業	木材・木製品製造業		
				製材	チップ	その他
網走西部	4	23	21	9	10	3
全道	78	396	389	154	181	65



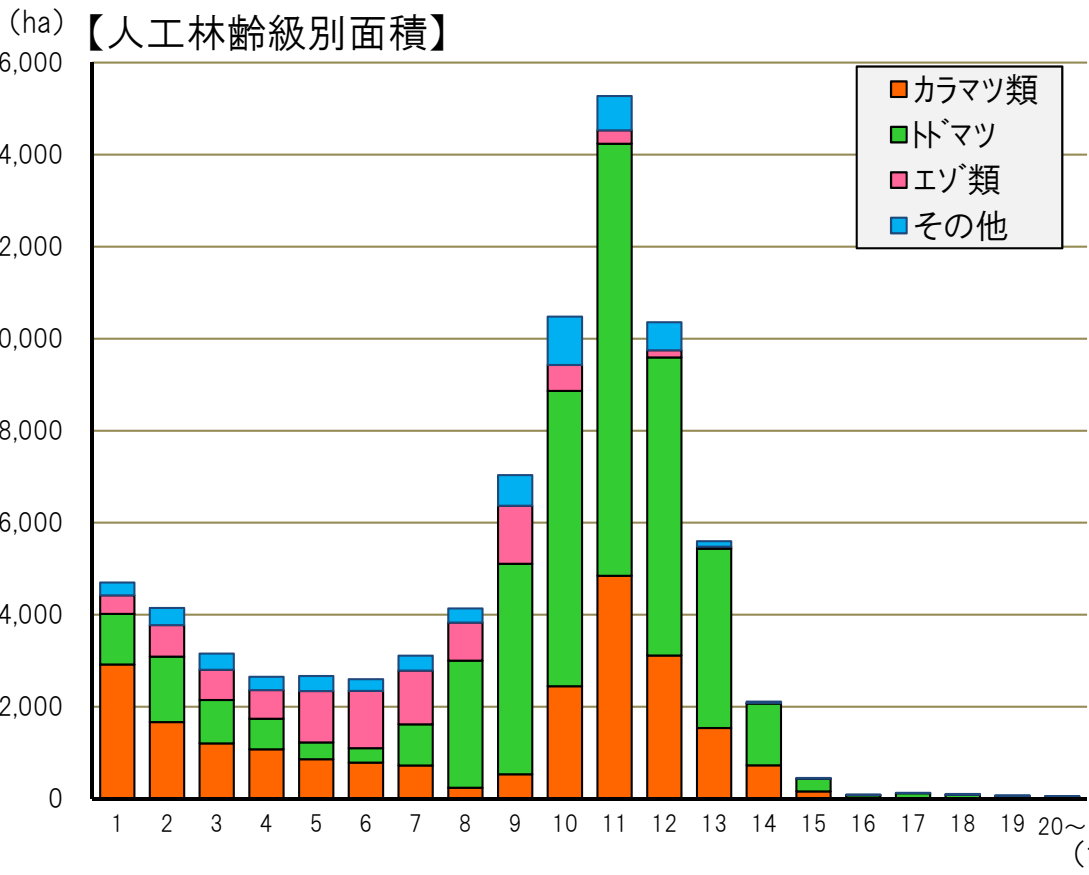
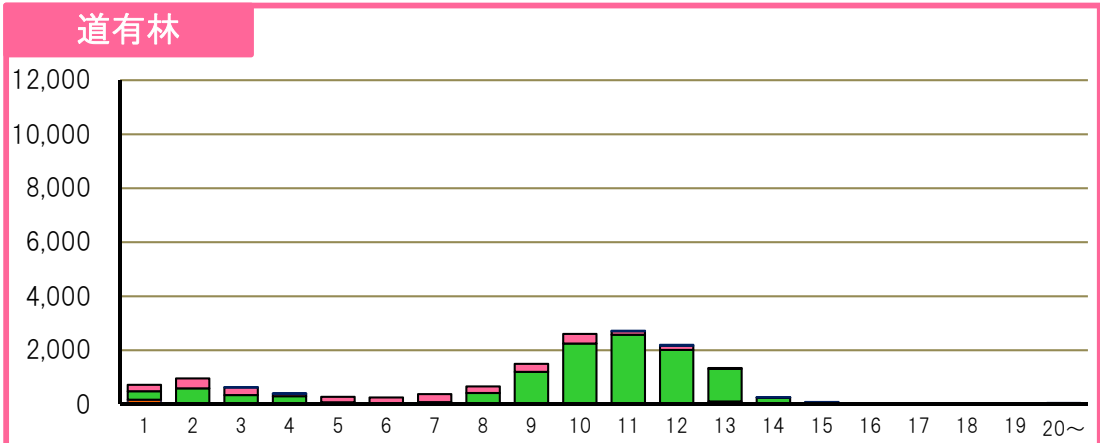
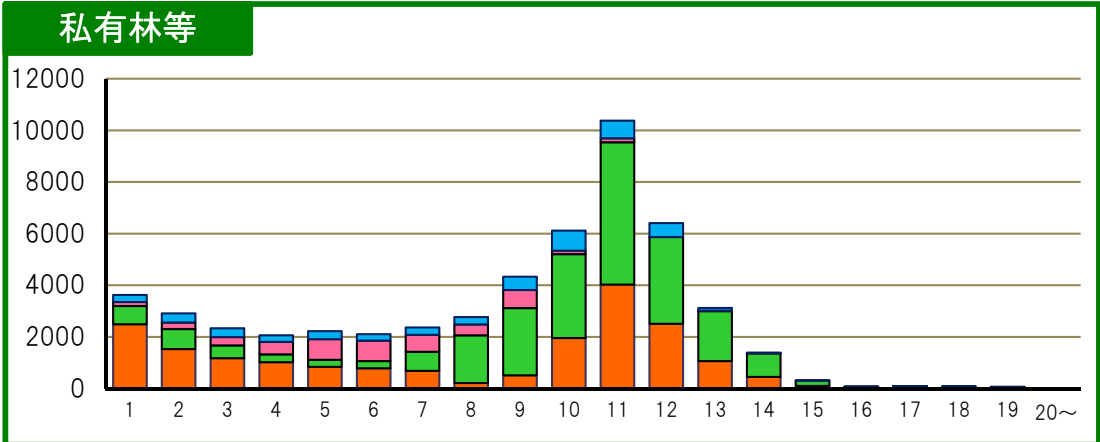
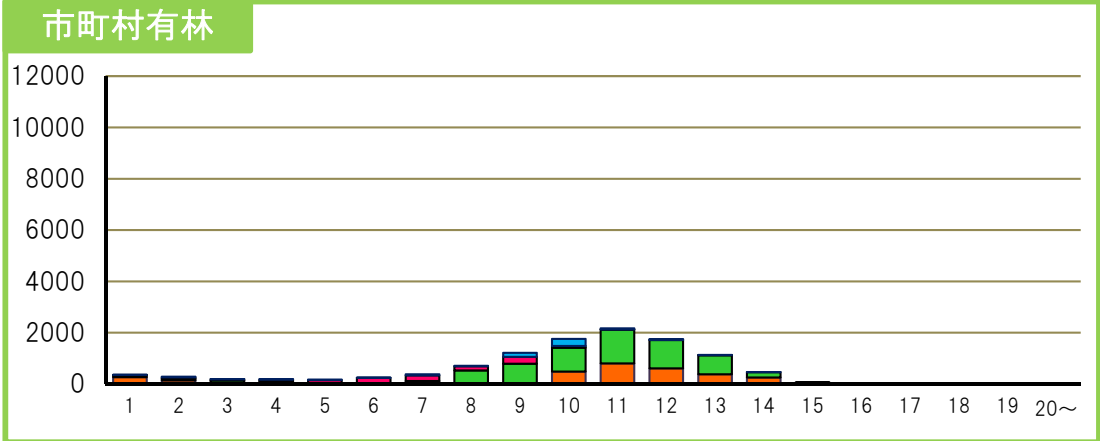
2. 地域森林計画の樹立について

網走西部地域森林計画区

区分	市町村有林	私有林等	道有林	計
人工林	11,113 ha	52,741 ha	15,087 ha	78,941 ha
天然林	7,107 ha	51,870 ha	48,311 ha	107,289 ha
無立木地	208 ha	1,680 ha	2,870 ha	4,758 ha
計	18,428 ha	106,291 ha	66,269 ha	190,988 ha

※端数処理の関係上、縦横の合計が一致しない場合がある

(令和4年12月31日現在)



2. 地域森林計画の樹立について

網走西部地域森林計画区

実績及び評価

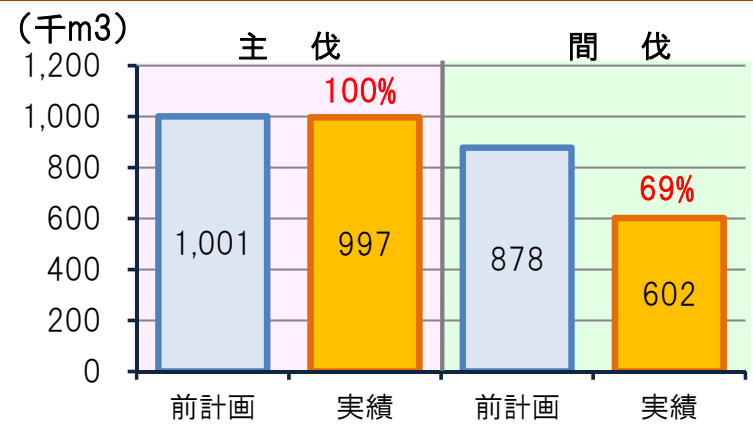
(令和元年～令和5年)

伐採



【主伐】
計画どおり実行された。

【間伐】
担い手が限られる中で主伐を優先したため、計画を下回った。

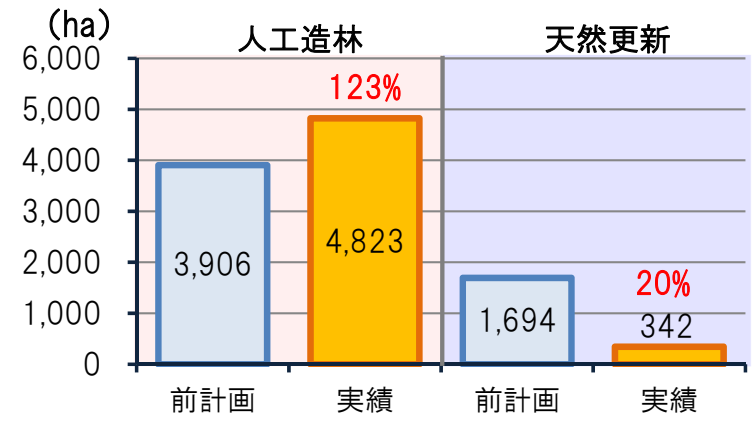


造林



【人工造林】
伐採後の再造林が着実に行われたことに加え、被害地への造林が多かったことから、計画を上回った。

【天然更新】
天然林の択伐が少なく留まり、対象となる森林が少なかったことから、計画を下回った。



保安林の指定



保安林の指定は、所有者の承諾に時間を要し、計画期間内の指定が進まなかったため、計画を下回った。

(単位 面積:ha)


森林の種類	前計画	実績	実行率
水源涵養 ^{かん}	319	0	0%
災害防備	143	0	0%
計	462	0	0%

2. 地域森林計画の樹立について


十勝地域森林計画区

地域の概要


地勢	北海道南東部の太平洋側に位置し、西部に日高山脈、北東部にかけては、大雪山系と阿寒の山々に囲まれており、南は太平洋に面する。
気候	年平均気温 約 6.5℃ 年間平均降水量 約1,003mm 年最深積雪 約153cm 太平洋沿岸を除き、内陸性気候であるのが特徴であり、年間を通じて日照時間に恵まれ、年間降水量も少ない。
構成	1市16町2村
人口	約333千人(令和2年国勢調査) 全道の6.4%



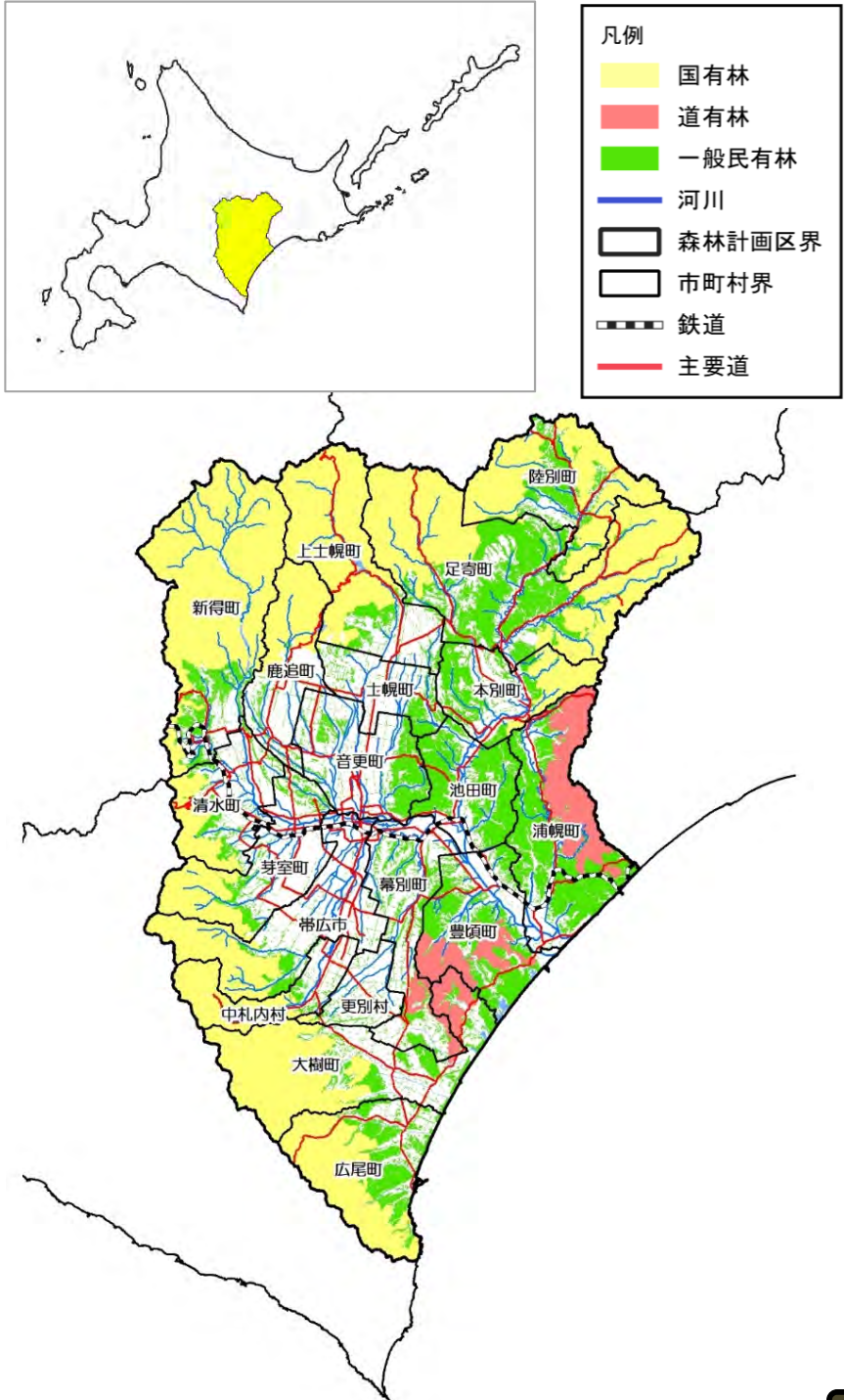
農業
畑作や酪農を中心とした大規模農業経営を展開。耕地面積は全道の2割強。



漁業
道東太平洋沖に好漁場を有する。栽培漁業や資源管理型漁業、漁礁・産卵礁の設置を推進。



その他
アウトドアスポーツや農業体験などの参加・体験型観光や、地場産食材を活用した食の提供が盛ん。



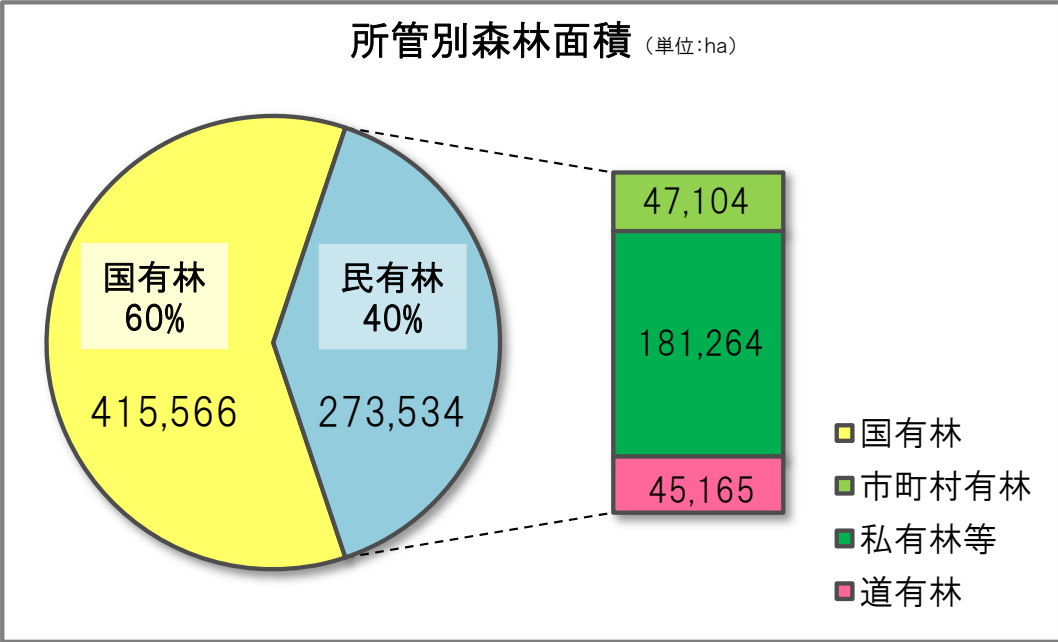
2. 地域森林計画の樹立について

十勝地域森林計画区

■ 森林・林業の概要

(令和4年4月1日現在)
(森林経営計画認定面積: 令和5年3月31日現在)

- 森林面積 : 689千ha (総土地面積の64%)
- 民有林面積 : 274千ha (計画区の森林の40%)
- 民有林蓄積 : 48,743千m³ (ha当たり蓄積 178m³)
- 伐採材積 : 1,099千m³ (うち民有林 79.1%)
- 森林経営計画認定面積 : 159千ha(認定率 70%)



■ 林業事業体の概要

(森林組合、木材・木製品製造業: 令和5年3月31日現在)
(造林業、素材生産業: 令和4年3月31日現在)

区分	森林組合	造林業	素材生産業	木材・木製品製造業		
				製材	チップ	その他
十勝	12	69	76	21	26	3
全道	78	396	389	154	181	65



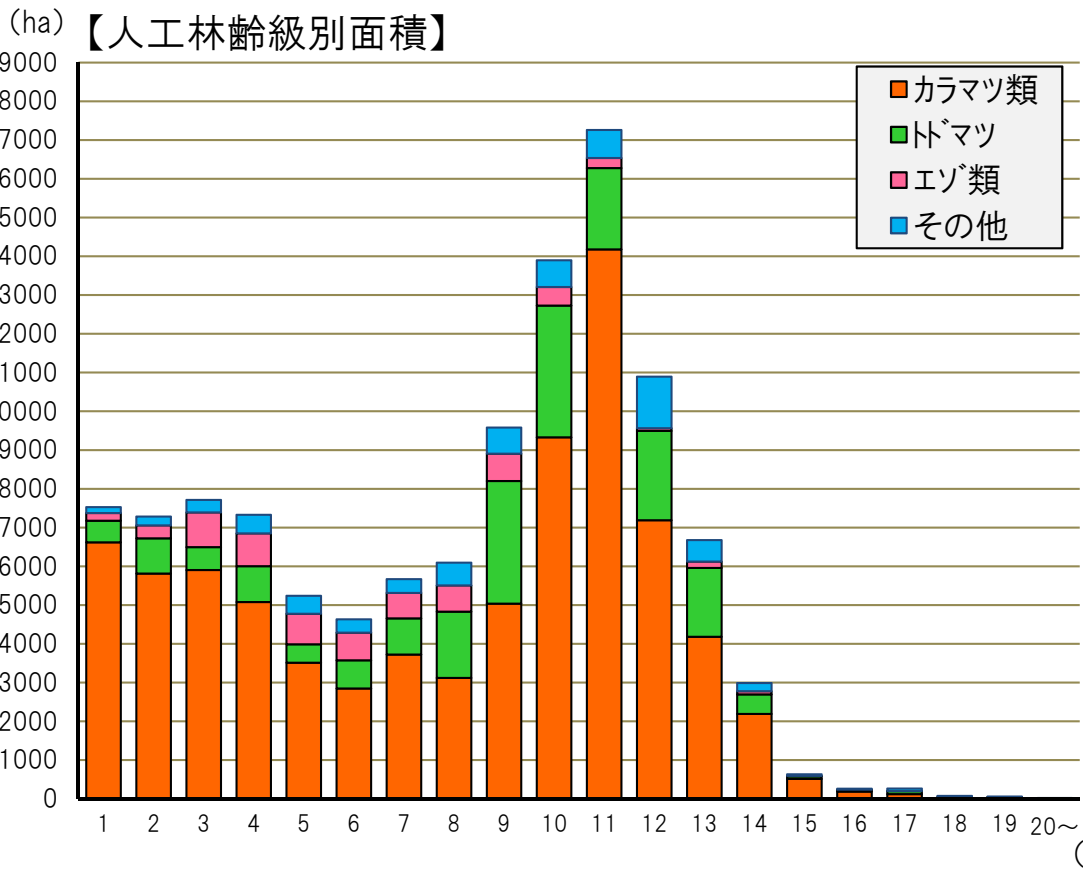
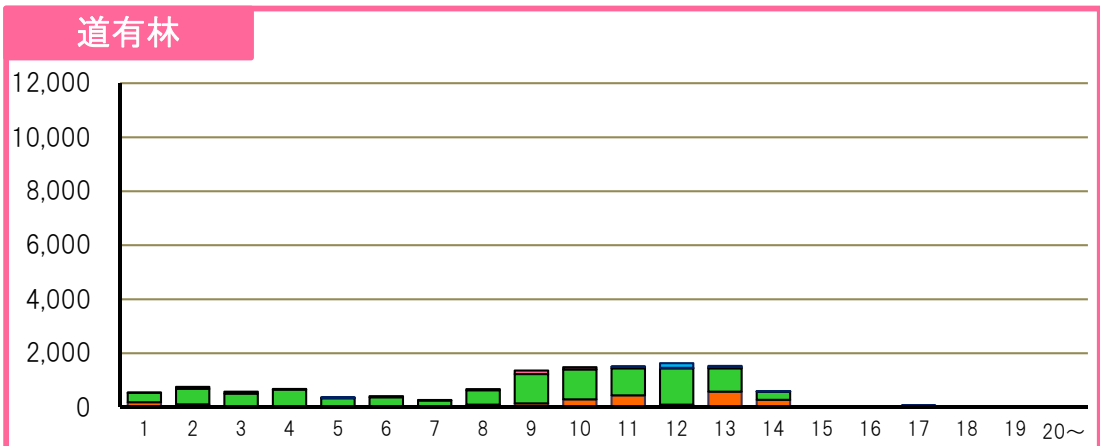
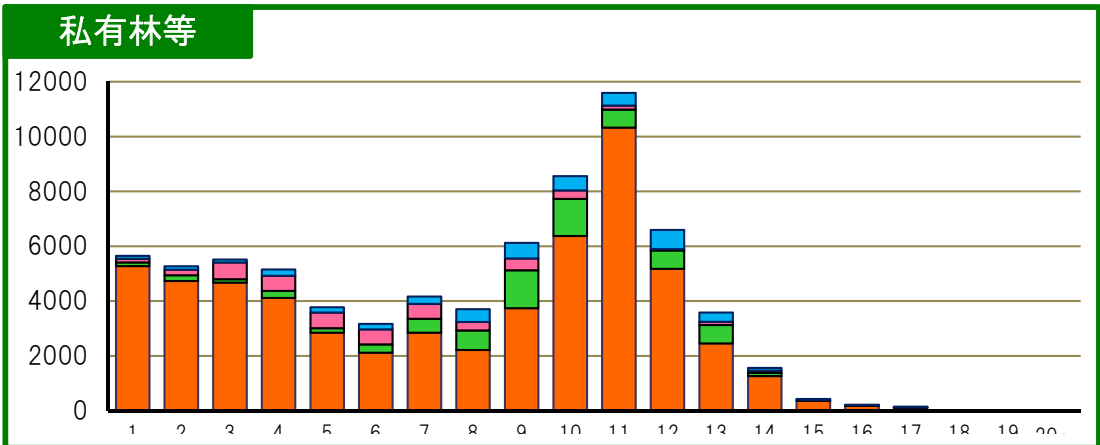
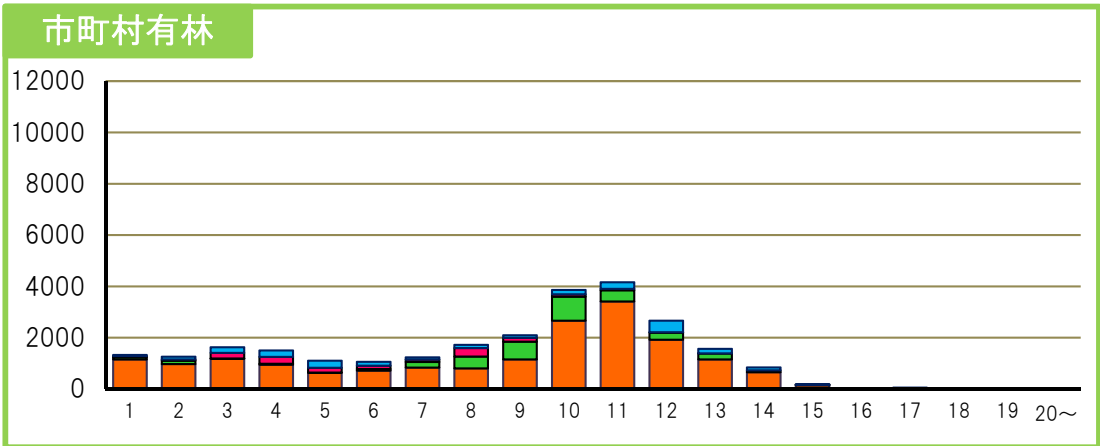
2. 地域森林計画の樹立について

十勝地域森林計画区

区分	市町村有林	私有林等	道有林	計
人工林	26,327 ha	75,215 ha	12,559 ha	114,101 ha
天然林	19,535 ha	95,020 ha	32,225 ha	146,780 ha
無立木地	1,242 ha	11,029 ha	381 ha	12,652 ha
計	47,104 ha	181,264 ha	45,165 ha	273,534 ha

※端数処理の関係上、縦横の合計が一致しない場合がある

(令和4年12月31日現在)



2. 地域森林計画の樹立について

十勝地域森林計画区

実績及び評価

(令和元年～令和5年)

伐採

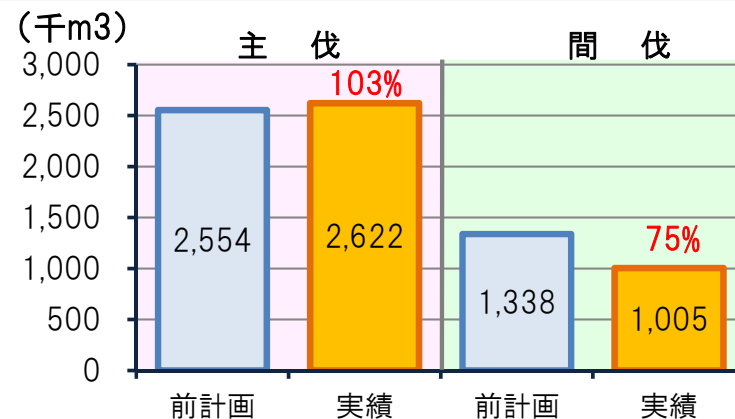


【主伐】

計画どおりに実行された。

【間伐】

限られた人員の中で主伐を優先させたことから、計画を下回った。



造林

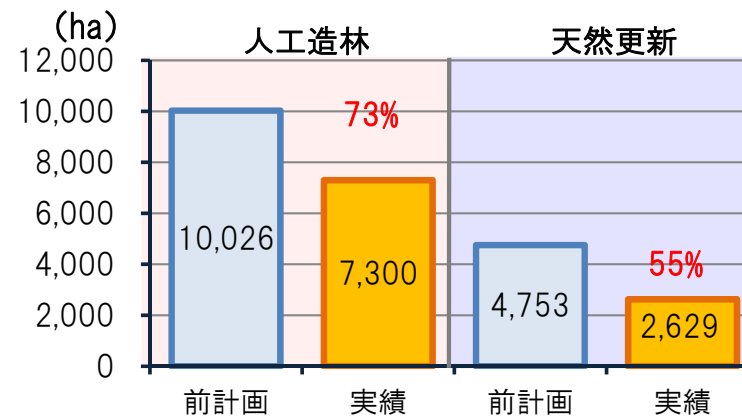


【人工造林】

労働力不足により造林が進まなかったことから、計画を下回った。

【天然更新】

天然林の択伐が進まず、対象となる森林が少なかったことなどから、計画を下回った。



保安林の指定



保安林の指定は、所有者への承諾に時間を要し、後期計画に繰り越した箇所があったことから、計画を下回った。

(単位 面積:ha)

森林の種類	前計画	実績	実行率
水源涵養 ^{かん}	112	83	74%
災害防備	246	180	73%
計	358	262	73%

※端数処理の関係上、縦横の合計が一致しない場合がある

2. 地域森林計画の樹立について

※重要課題を5つ選択・順位付けし、課題の重要度に応じて配点(1位から順に10、8、6、4、2点)したものを、合計が100点となるよう計算した。

地域における課題の把握(アンケート結果)

※複数回答

重要と感じる地域の課題	上川南部	網走西部	十勝
1 地域の実情に応じた市町村森林整備計画の作成	1点	0点	0点
2 森林経営計画の作成促進及び実行管理	15点	3点	4点
3 森林情報(所有者・現況等)の的確な把握	11点	7点	7点
4 林地台帳の更新	6点	1点	2点
5 伐採及び造林の届出制度の適正な運用	2点	0点	2点
6 伐採後の更新	4点	3点	13点
7 未立木地への更新	2点	0点	2点
8 安定的な苗木の確保(裸苗)	0点	10点	10点
9 安定的な苗木の確保(コンテナ苗)	2点	5点	3点
10 間伐など適切な保育の実施	5点	2点	7点
11 造林・保育コストの低減	6点	3点	9点
12 路網の整備(林道・林業専用道)	1点	7点	5点
13 路網の整備(森林作業道)	4点	9点	5点
14 林業事業体の育成	8点	3点	7点
15 担い手の育成・確保	18点	31点	11点
16 機械化等による作業効率の向上・軽労化	5点	12点	10点
17 その他	10点	4点	3点

2. 地域森林計画の樹立について

地域における課題の把握(聞き取り調査等)

○市町村聞き取り調査等の結果

[上川南部]

- ・従事者がすぐに離職してしまい定着が難しいことや、冬期間の仕事の確保が課題。
- ・所有者の所在がわからない森林がある。
- ・造林、下刈りで人手不足。

[網走西部]

- ・担い手が高齢化している。
- ・担い手が不足しており、特に造林・保育分野の人手が足りない。
- ・造林や下刈りは人力作業が多く、機械化による軽労化が課題。
- ・担い手不足に対応するためには、機械化による作業効率の向上が必要。

[十勝]

- ・高齢化や人手不足により造林が追いついていない。
- ・新規採用者がすぐに離職してしまい、定着しない。
- ・伐採の機械化は進んでいるが、造林、下刈りは進んでいない。



(造林作業)



(自走式下刈り機)



(造林未済地)

2. 地域森林計画の樹立について

上川南部地域森林計画区

【地域の課題】

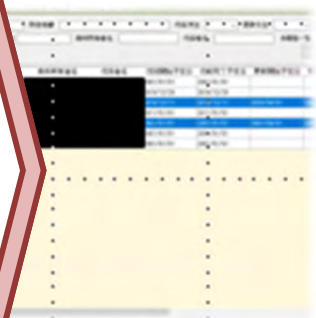
・担い手の定着に向けた事業体の育成
林業従事者の新規参入割合が高い地域だが、労働条件の厳しさなどから定着していない。今後増加が見込まれる施業への対応が難しいことから、担い手の定着に向けた事業体の育成が課題。



【取組方向】

- ◆ 確保した担い手を定着させるため、労働環境の改善を図る。
- ◆ 機械化やICT等の最新技術を活用し、事業体の生産性と収益性を高めて経営力向上を図る。

・森林情報の的確な把握
所在不明の森林所有者が存在するため、森林の境界が確定できず、施業の妨げとなっていることから、森林所有者情報等を適確に把握することが課題。



- ◆ 固定資産課税台帳などを活用した林地台帳の精度向上や土地所有者の届出制度の普及推進。
- ◆ 所有者不明森林については、経営管理権集積計画の作成に係る特例措置を活用。

・軽労化・コスト低減等による造林面積の増加
多くの森林が利用期を迎え、主伐の増加が想定されている。限られた人員で主伐後の造林に対応するには、人力作業の割合が大きい植栽や下刈りなどの造林作業における軽労化やコスト低減が課題。



- ◆ コンテナ苗を活用した、植え付け作業の軽労化や、植栽本数低減によるトータルコスト低減などを進める。
- ◆ 自走式下刈り機を活用した作業の軽労化や人工数の削減を図る。

2. 地域森林計画の樹立について

網走西部地域森林計画区

【地域の課題】

・担い手の育成・確保

林業従事者の不足や高齢化が課題となっており、新規参入者数は近年減少を続け、全体の従事者数も減少傾向にある。

多くの森林が利用期を迎えており、主伐と再造林を確実に実施できる体制を構築する必要がある。



【取組方向】

- ◆ 「北の森づくり専門学院」の実習生受入、SNSを活用した林業・木材産業の魅力の発信による新規就業者の確保。
- ◆ 研修や資格取得に対する支援による就労環境の向上。

・機械化等による作業効率の向上・軽労化

担い手が不足・高齢化している中、必要な森林整備を実施するためには、作業効率の向上や軽労化を進める必要がある。

特に、造材分野と比較して機械化が進んでいない、造林・保育分野における機械化やICTの導入を進める必要がある。



- ◆ 機械化やICTによる作業効率の向上・軽労化。
- ◆ 空調服など、装備品の導入による労働環境の改善。

2. 地域森林計画の樹立について

十勝地域森林計画区

【地域の課題】

・計画的な伐採・造林の推進

一般民有林では主伐に造林が追いついていない状況が続いているため、一定期間を経過した造林未済地の解消が必要。



【取組方向】

- ◆ 道のクラウドシステム活用による情報共有や「特に効率的な施業が可能な森林」の区域設定を促進。
- ◆ 植栽可能な時期を分散することができる「コンテナ苗」の活用を推進。

・担い手の確保・林業事業体の育成

林業従事者の高齢化が進んでいることに加え、新規採用者の早期離職が顕著に見られている。課題となっている造林未済地の解消や、今後見込まれる施業の増加に対応するため、担い手の確保に向けた対策が重要。



- ◆ 「北の森づくり専門学院」生徒の実習フィールド確保や生徒の受入、SNSなどを活用した本地域の魅力発信。
- ◆ 労働安全対策の強化や経営力の向上など林業事業体の育成を総合的に推進。

・スマート林業の推進

多くの森林が利用期を迎え、主伐などが増加しているが、作業員が不足しているため、作業効率を向上させる必要がある。また、造林作業においては、人力が主流であることから、軽労化により、作業負担を減らすことが必要。



- ◆ ICTなどの新たな技術の活用や高性能林業機械・安全装備の導入支援などによるスマート林業の普及・定着。

2. 地域森林計画の樹立について

上川南部地域森林計画区

計 画

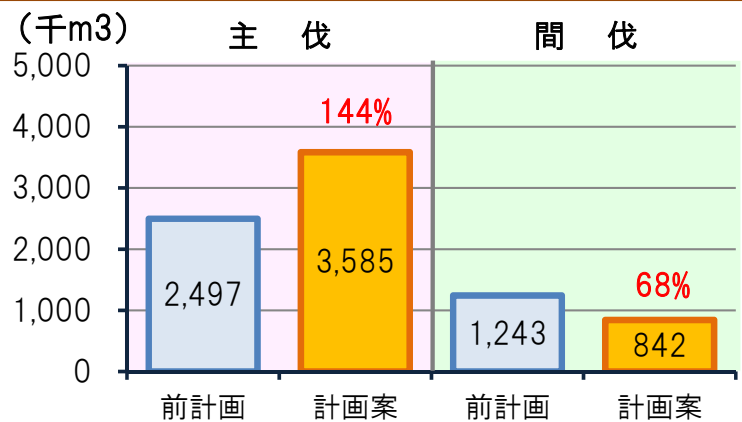
(令和6年～令和15年)

伐 採



[主 伐]
人工林の主伐対象資源が増加することなどから、前計画を上回る計画。

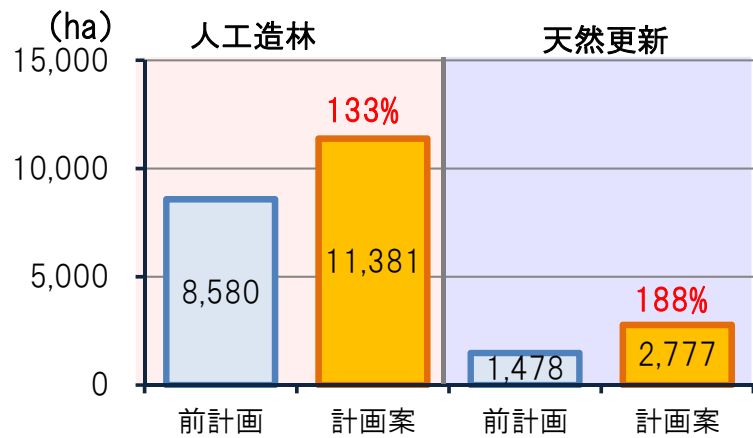
[間 伐]
人工林が利用期に移行し、対象資源が減少することなどから、前計画を下回る計画。



造 林



[人工造林及び天然更新]
主伐量の増加に伴い、更新面積が増加することから、前計画を上回る計画。



2. 地域森林計画の樹立について

網走西部地域森林計画区

計 画

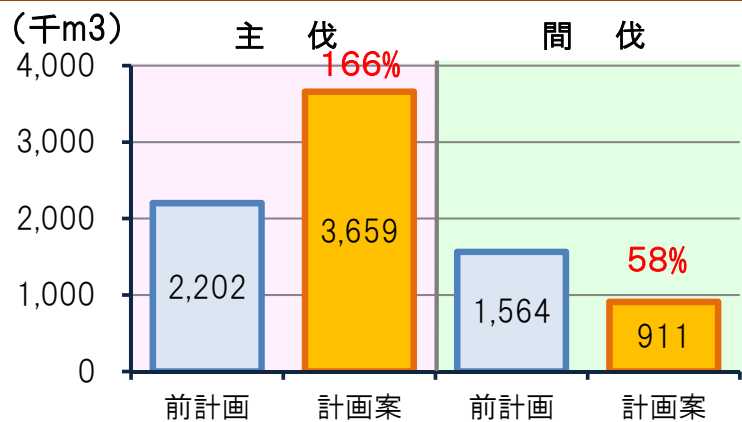
(令和6年～令和15年)

伐 採



[主 伐]
人工林の主伐対象資源が増加することなどから、前計画を上回る計画。

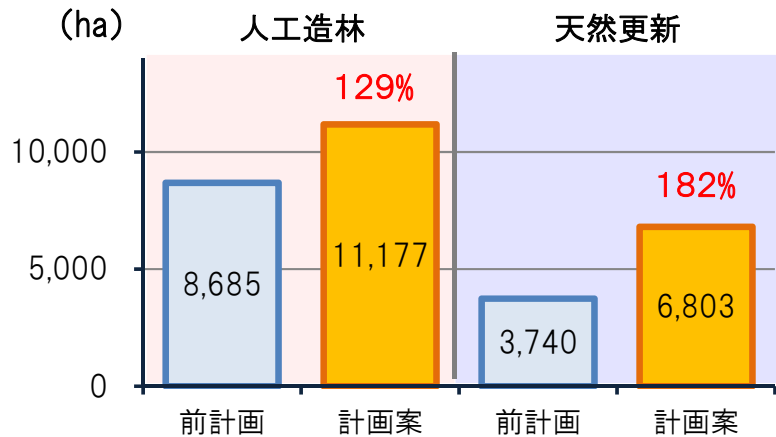
[間 伐]
人工林が利用期に移行し、対象資源が減少することなどから、前計画を下回る計画。



造 林



[人工造林及び天然更新]
主伐量の増加に伴い、更新面積が増加することから、前計画を上回る計画。



保安林の指定



水源の涵養^{かん}や土砂流出の防備などの森林の機能が失われないように保安林の指定を計画的に実施。

(単位 面積:ha)

森林の種類	指定計画
水源涵養 ^{かん}	3,193
災害防備	788

2. 地域森林計画の樹立について

十勝地域森林計画区

計 画

(令和6年～令和15年)

伐 採

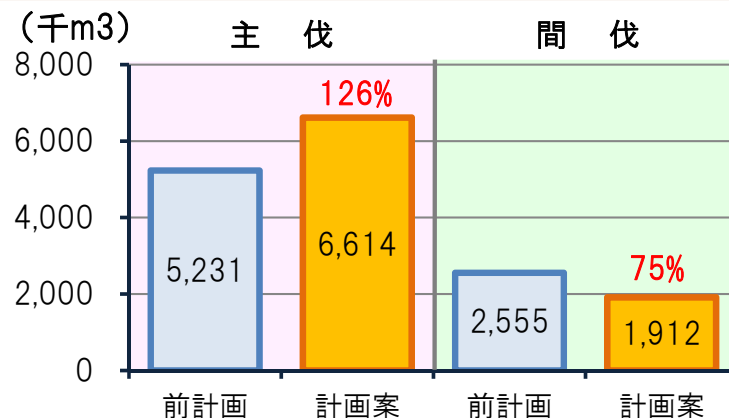


[主 伐]

人工林の主伐対象資源が増加することなどから、前計画を上回る計画。

[間 伐]

人工林が主伐期に移行し、対象資源が減少することなどから、前計画を下回る計画。

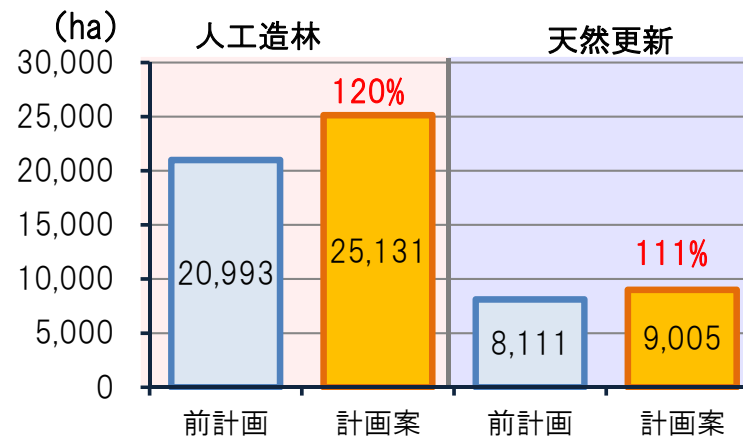


造 林



[人工造林及び天然更新]

主伐量の増加に伴い、更新面積が増加することから、前計画を上回る計画。



保安林の指定



水源の涵養^{かん}や土砂流出の防備などの森林の機能が失われないように保安林の指定を計画的に実施。

(単位 面積:ha)

森林の種類	指定計画
水源涵養 ^{かん}	210
災害防備	660

3. 地域森林計画の変更について

地域森林計画変更計画(案)の概要

□ 全国森林計画の変更に伴う計画量の見直し

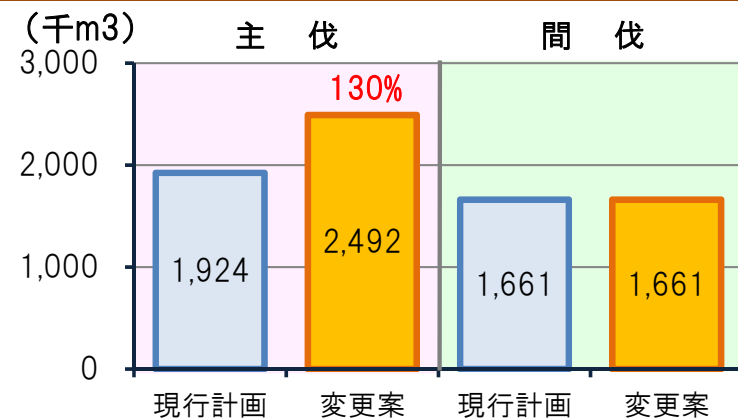
渡島檜山地域森林計画区

伐採



[主伐]
育成複層林への誘導をより進めていくことから、現行計画を上回る計画。

[間伐]
計画変更なし

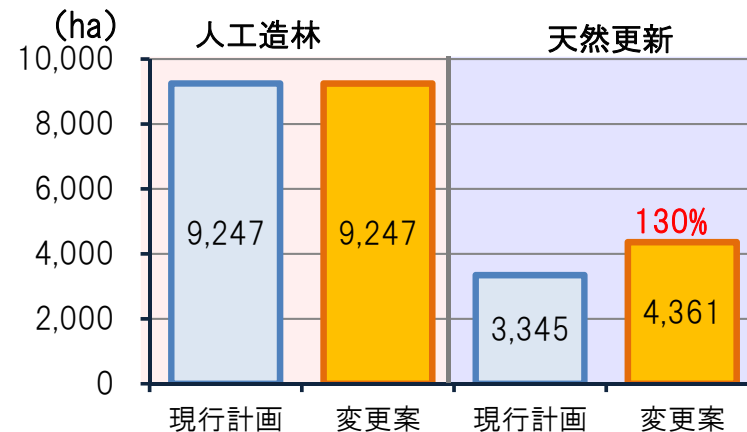


造林



[人工造林]
計画変更なし

[天然更新]
育成複層林への誘導をより進めていくことから、現行計画を上回る計画。



3. 地域森林計画の変更について

地域森林計画変更計画(案)の概要

□ 計画の対象とする森林の区域の変更

・森林への編入、森林以外への転用

計画区	増 減	主な増減事由
渡島檜山	▲78 ha	鉄道・新幹線施設用地等への転用
後志胆振	7 ha	原野等からの編入
胆振東部	164 ha	照査による精度向上のため
日高	▲72 ha	事業地等への転用
石狩空知	▲101 ha	道路敷地等への転用
上川北部	▲12 ha	草地等への転用
留萌	▲37 ha	照査による精度向上のため
宗谷	146 ha	原野等からの編入
網走東部	▲74 ha	草地等への転用
釧路根室	▲77 ha	草地等への転用
合 計	▲134 ha	

□ 要整備森林※の変更

・指定：該当無し、解除：2計画区、2地区(5箇所)

計画区	区分	変更内容
宗谷	解除	1地区(3箇所) 11.48ha
釧路根室	解除	1地区(2箇所) 20.90ha

※ **要整備森林**
 特定保安林の機能の確保を図るため、造林、保育、伐採その他の森林施業を早急を実施する必要があると認められる森林。
 特定保安林は、指定の目的に即して機能していない保安林のうち、森林施業を早急を実施する必要があると認められるものとして農林水産大臣が指定(民有林のみ)。

3. 地域森林計画の変更について

地域森林計画変更計画(案)の概要

□ 林道の開設及び拡張の変更

・開設:13路線追加 拡張:7箇所追加

計画区	区分	変更内容
後志胆振	開設	4路線追加(0.7km増)
石狩空知	開設	3路線追加(2.4km増)
	拡張	3箇所追加
留萌	開設	1路線追加(0.7km増)
釧路根室	開設	5路線追加(7.5km増)
	拡張	4箇所追加(0.2km増)